

日本製鉄名古屋合唱団第21回定期演奏会

美しいハーモニーで聴衆を魅了

11月17日、当所合唱団が東海市芸術劇場大ホールで、定期演奏会を開催した。21回目を迎えた今回の演奏会は、4つのステージで構成され、第1ステージでは、作曲家で合唱活動を長く続けてきた、信長貴富先生の代表曲「未来へ」「たっけだけの歌」など4曲を演奏した。

第2ステージでは、海外の小品集と題し「Ave Maria」など3曲を披露し、美しいハーモニーで会場に詰めかけた聴衆を魅了した。

後半のステージは、昨年12月に逝去された大中恩先生を偲ぶプログラムで構成。第3ステージは、混成合唱組曲「北廻船」から「橋守」「古い恋」「海の上の川」「雪の晴れ間」を披露。最後はこどものための音楽活動をライフワークに精力的に活動された大中先生のこどものうたのステージを、指揮者・高橋寛樹さんによる大中先生とのエピソードや楽曲の紹介で演奏が進行され、子猫や犬に扮した団員が「いぬのおまわりさん」の歌声に合わせて演技をずると、会場から笑い声がこぼれた。その他「サッチャん」をはじめ、懐かしい童謡8曲を軽快に歌い上げると、観客から大きな拍手が沸き起こった。



美しいハーモニーを披露する合唱団



大中恩先生の楽曲「北廻船」を披露する合唱団



最終ステージで進行を務めた指揮者・高橋寛樹さん



「こどものうた」では小道具を使って軽快に演奏



子猫と犬に扮して会場を盛り上げた団員